

弁体引抜型地上式消火栓 不凍式

取扱説明書

施工・使用される前に必ず本製品の取扱いを規定する本取扱説明書を最後までお読みください。
また、本製品を取り扱われる方がいつでも見ることが出来る場所に保管してくださいませようお願い致します。



株式会社 **キッツエスジーエス**

はじめに

この度は、キッツエスジーエスの

弁体引抜型地上式消火栓 不凍式 を

ご採用くださいますて、誠にありがとうございます。

本書は、お客様にバルブを正しく、安全にお使いいただくための取扱いについて説明してあります。

お使いの前に必ずお読みいただき、お読みになったあとも

大切に保管してください。

警 告 表 示



警 告

取扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。



注 意

取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

本取扱説明書について

- ・ 内容について、ご不審な点やお気づきのことがありましたら、弊社窓口へご連絡ください。
- ・ 内容は予告なく変更する場合があります。

弁体引抜型地上式消火栓 不凍式を 正しく安全にご使用いただくために

安全上のご注意

お使いの前にこの「注意事項」をお読みのうえ、安全に取扱ってください

受取り・運搬・保管時



注 意 …… 落下などによる事故防止

- (1) バルブの吊り上げ・玉掛けは、質量（重量）をご確認のうえ行い、吊荷の下には立ち入らない等、安全に十分注意して作業してください。
 - (2) ダンボール梱包の製品は、水に濡れると梱包強度が低下することがありますので、保管・取扱いには十分注意してください。
- これらの注意を怠ると、傷害事故の発生するおそれがあります

据付け・試運転時



注 意 …… 落下・転落などによる事故防止

- (1) バルブの吊り上げ・玉掛けは、質量（重量）をご確認のうえ行い、吊荷の下には立ち入らない等、安全に十分注意して作業してください。
 - (2) 作業を行う時は、足場の安全を確保し、不安定な管の上などでの行為は避けてください。
- これらの注意を怠ると、転落などによる傷害事故の発生するおそれがあります



警 告 …… 接続不良などによる事故防止

- (1) 排水作業を行うときは、放水口にホースが確実に接続されていることを確認してください。
 - (2) 排水側のホース末端はしっかりと固定してください。
- これらの注意を怠ると、人身事故の発生するおそれがあります

維持管理時



警 告 …… 酸欠などによる事故防止

- (1) 消火栓室に入る時は、必ず酸素濃度を測定すると共に、臭気に注意してください。又、これらの場所で作業を行う時は、常に換気に気をつけてください。
 - (2) 塗装作業を行う時は、火気および換気に気をつけてください。
- これらの注意を怠ると、人身事故（死亡事故）の発生するおそれがあります

維持管理時



警 告 …… 接続不良などによる事故防止

- (1) 排水作業を行うときは、放水口ホースが確実に接続されていることを確認してください。
- (2) 排水側のホース末端はしっかりと固定してください。

これらの注意を怠ると、人身事故（死亡事故）の発生するおそれがあります



注 意 …… 傷害事故防止

- (1) 作業を行うときは、足場の安全を確保し、不安定な管の上などでの行為は避けてください。
- (2) 本体部品の分解作業は、管内に圧力の無いことを確認してから行ってください。（補修弁が設置されている時は、補修弁を全閉し、圧力を抜いてください）

これらの注意を怠ると、傷害事故の発生するおそれがあります

正しい用途

☆地上式消火栓は、主に上水の管路に据付けされ、使用される消火栓です。

正しい運転

☆適正な圧力範囲で使用してください。

最高使用圧力 0.75MPa

☆止水には無理な締め込みは不要です

☆据付姿勢は立形が原則です。

☆消火栓の操作は、開閉方向を確認後、行ってください。

☆補修弁は常に全開で使用してください。

詳細は本文 7.1. 正しい運転方法
 8. 標準仕様
 をご参照ください。



ふだんのご注意

不用意に
触らないでください。

☆消火栓には圧力がかかっています。

☆使用しないとき、口金にはふたを設置してください。

☆口金を傷つけないようにしてください。
変形したり、傷が付きますと、取付金具と接続できなくなります。

維持管理を忘れずに

点検・手入れが
大切です。

☆日常点検をしますと万全です。

☆点検のポイントは、作動の良好と漏れなしの確認です。

☆部品交換は、慎重に行ってください。

詳細は本文 7.2. 点検
 をご参照ください。

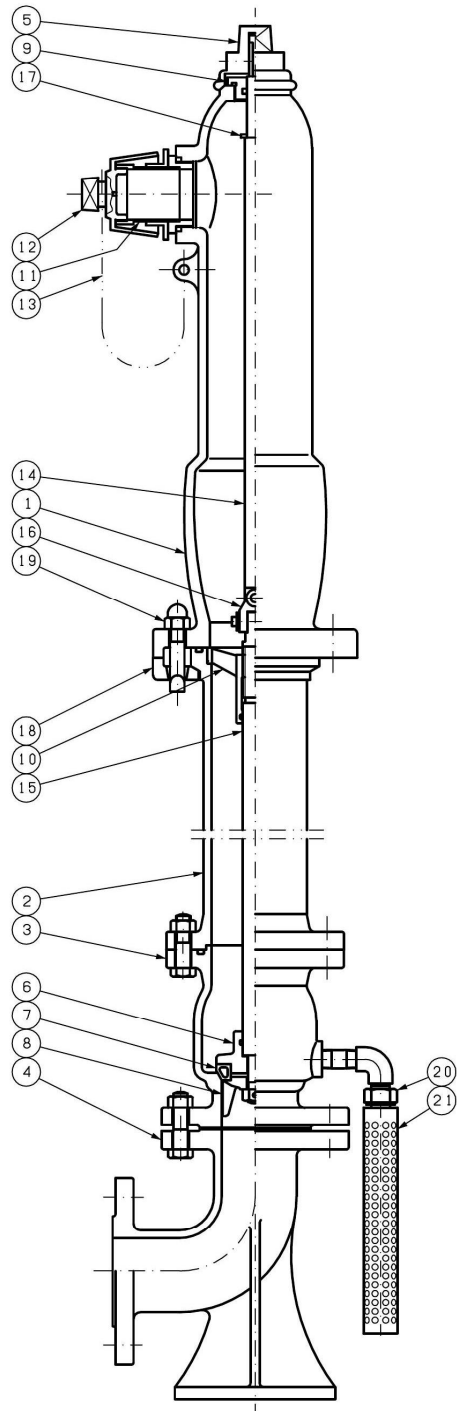
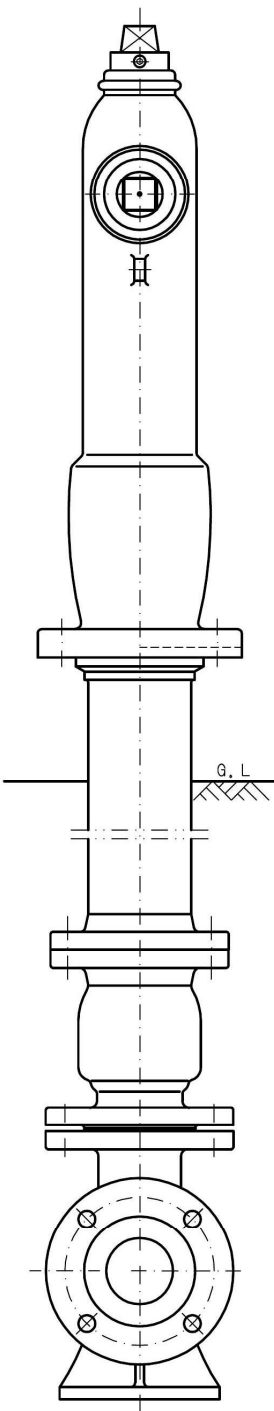
もくじ

■ 弁体引抜型地上式消火栓 不凍式を 正しく安全にご使用いただくために	巻頭
1. 構造及び部品名称	1
弁体引抜型地上式消火栓 打倒式 (不凍式 単口75 双口100)	
弁体引抜型地上式消火栓 回転打倒式 (不凍式 単口75 双口100)	
ネオアーバンファイターⅠ型 (ステンレス製 打倒式) (不凍式 単口75)	
ネオアーバンファイターⅡ型 (ステンレス製 回転打倒式) (不凍式 単口75 双口100)	
2. 受取り	8
2.1. 確認事項	
2.2. 受取り	
3. 運搬と保管	9
3.1. 運搬	
3.2. 保管	
4. 開梱	10
4.1. 開梱	
4.2. 開梱後の確認事項	
5. 据付け	11
5.1. 確認事項	
5.2. 据付け前の確認事項	
5.3. 据付け	
5.4. 据付け後の確認事項	
5.5. 消火栓設置上の注意事項	
5.6. 消火栓設置方法	
6. 維持管理	15
6.1. 運転方法	
6.2. 機能説明	
6.3. 点検	
7. 標準仕様	18

1. 構造および部品名称

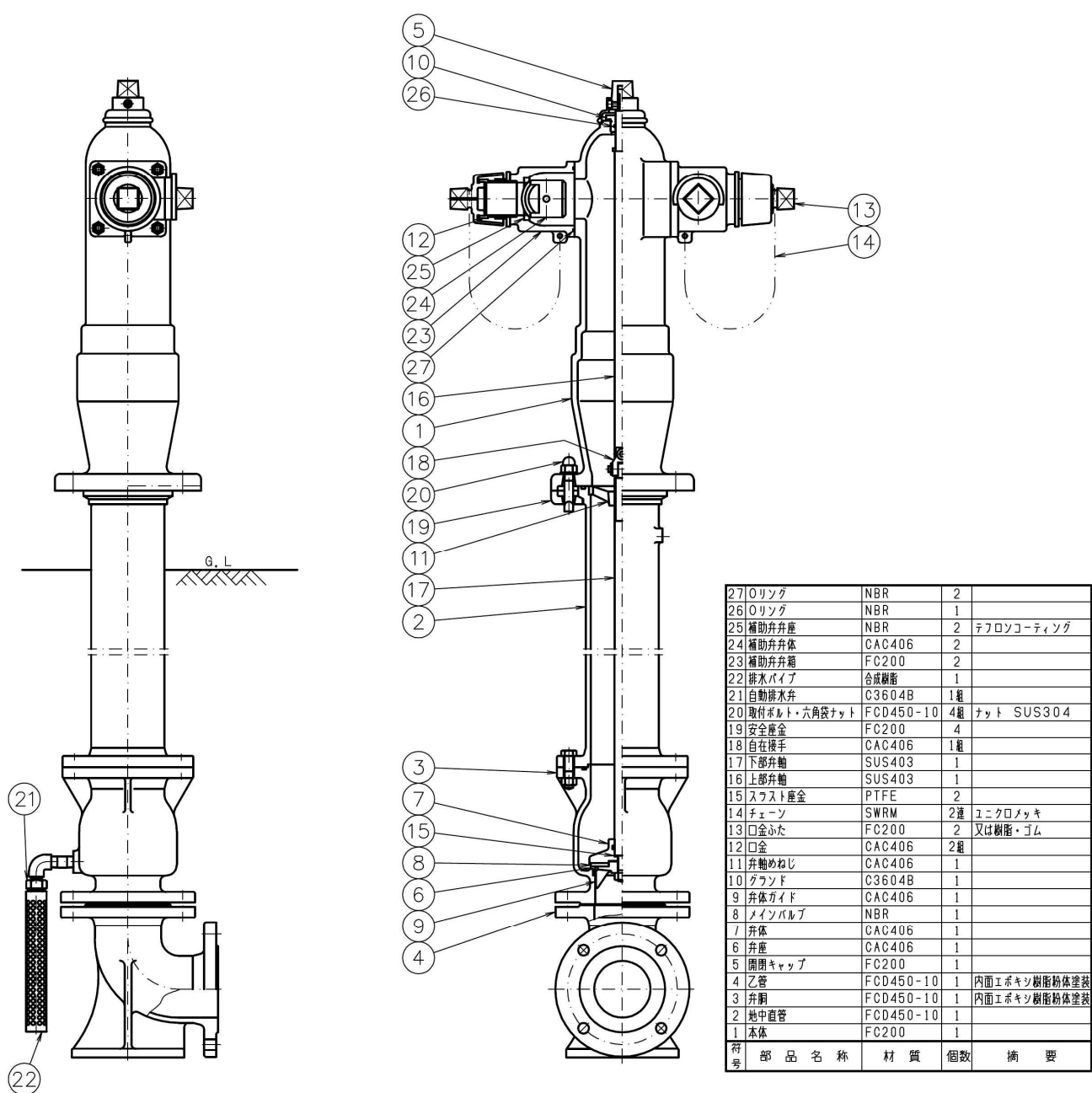
S G S 弁体引抜型地上式消火栓 不凍式は、口金の数と呼び径の違いにより、単口75及び双口100 の2種類があります。

弁体引抜型地上式消火栓 打倒式 乙管付
不凍式 単口75

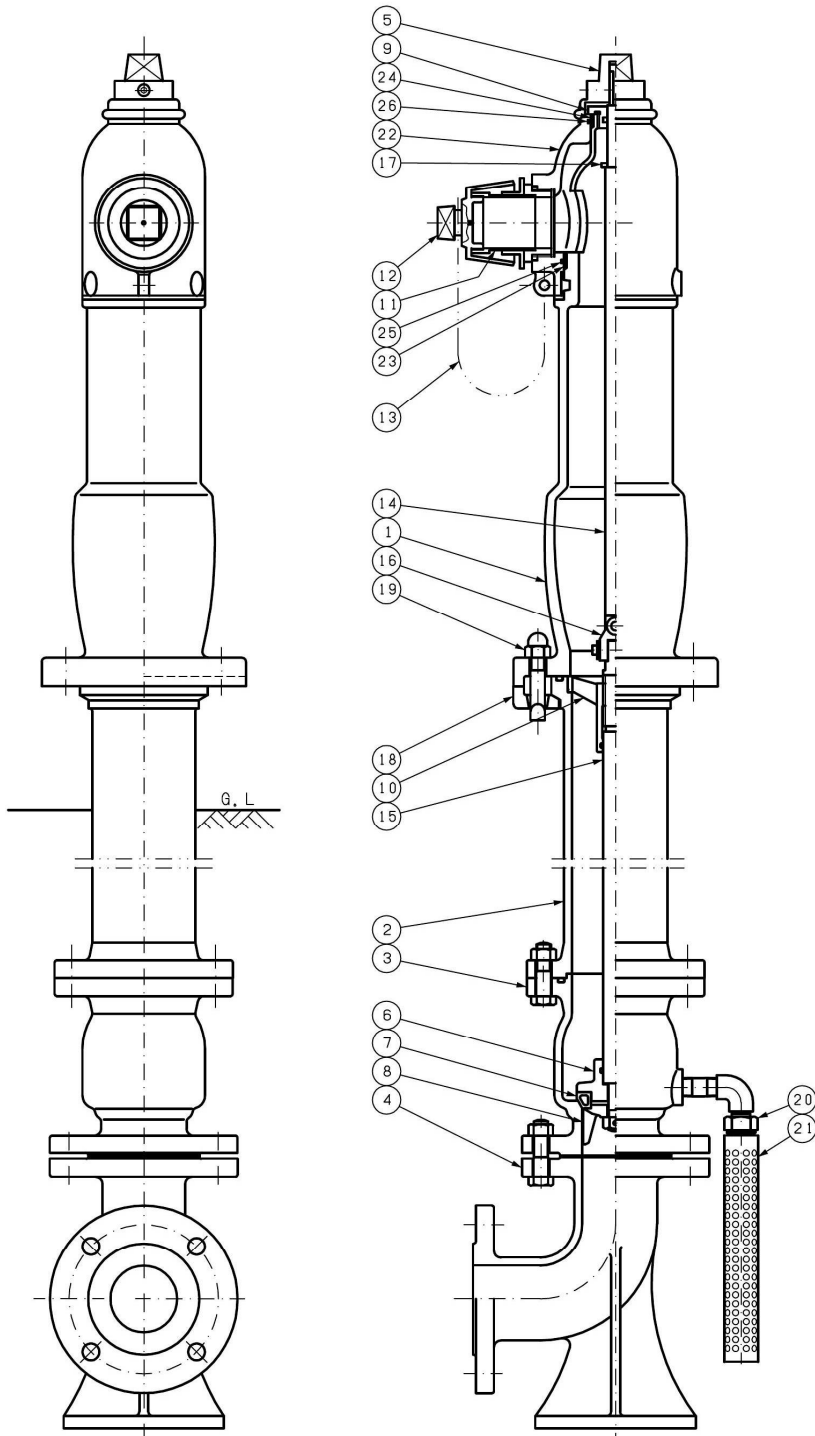


21	排水パイプ	合成樹脂	1	
20	自動排水弁	C3604B	1組	
19	取付ボルト・六角袋ナット	FCD450-10	4組	ナット SUS304
18	安全座金	FC200	4	
17	止めリソグ	SUS304	1	
16	自在接手	CAC406	1組	
15	下部弁軸	SUS403	1	
14	上部弁軸	SUS403	1	
13	チェーン	SWRM	1連	ユニクロメッキ
12	口金ふた	FC200	1	
11	口金	CAC406	1	
10	弁軸めねじ	CAC406	1	
9	グラッド	C3604B	1	
8	弁体ガイド	CAC406	1	
7	メインバルブ	EPDM	1	芯金入り
6	弁体	CAC406	1	
5	開閉キャップ	FC200	1	
4	乙管	FCD450-10	1	内面エポキシ樹脂粉体塗装
3	弁胴	FCD450-10	1	内面エポキシ樹脂粉体塗装
2	地中直管	FCD450-10	1	
1	本体	FC200	1	
符 号	部 品 名 称	材 質	個 数	摘 要

弁体引抜型地上式消火栓 打倒式 乙管付
不凍式 双口100

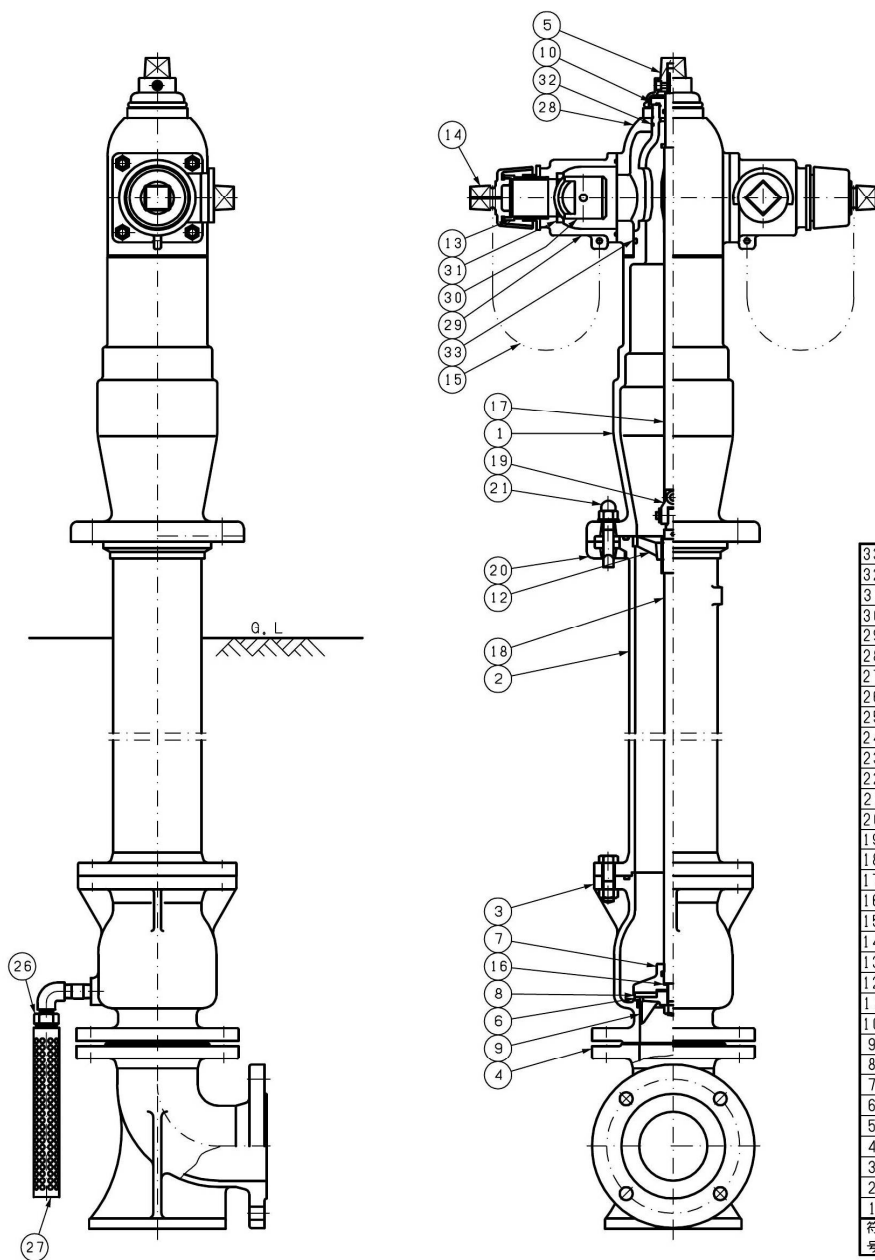


弁体引抜型地上式消火栓 回転打倒式 乙管付
不凍式 単口75



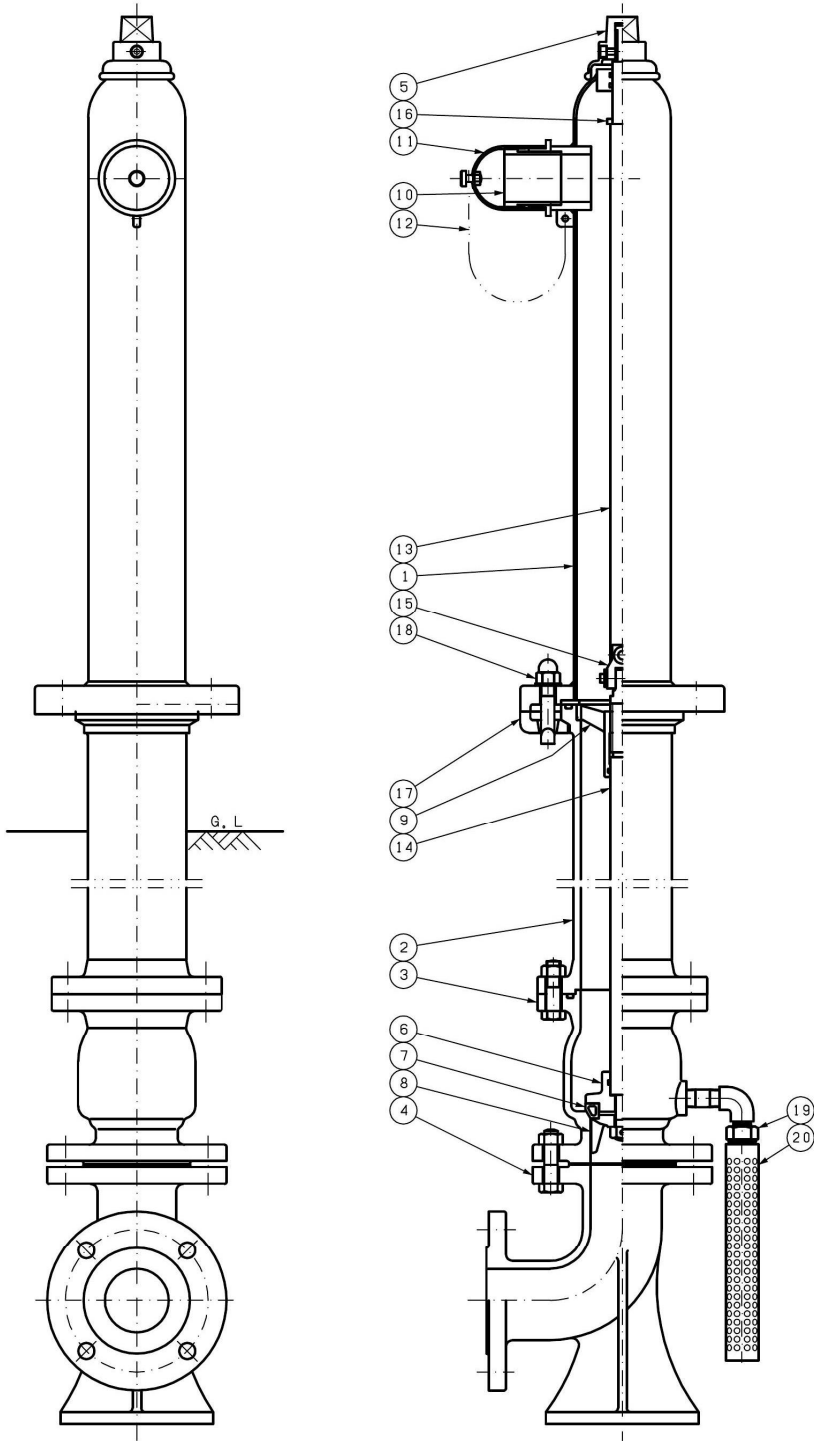
26	Vリング	NBR	1	
25	Vリング	NBR	1	
24	ライナー	CAC406	1	
23	ライナー	CAC406	1	
22	自在回転輪	FC200	1	
21	排水パイプ	合成樹脂	1	
20	自動排水弁	C3604B	1組	
19	取付ボルト・六角袋ナット	FCD450-10	4組	ナット SUS304
18	安全座金	FC200	4	
17	止めリング	SUS304	1	
16	自在接手	CAC406	1組	
15	下部弁軸	SUS403	1	
14	上部弁軸	SUS403	1	
13	チェーン	SWRM	1連	ユニクロメッキ
12	口金ふた	FC200	1	
11	口金	CAC406	1	
10	弁軸めねじ	CAC406	1	
9	グラッド	C3604B	1	
8	弁体ガイド	CAC406	1	
7	メインバルブ	EPDM	1	芯金入り
6	弁体	CAC406	1	
5	開閉キャップ	FC200	1	
4	乙管	FCD450-10	1	内面エポキシ樹脂粉体塗装
3	弁胴	FCD450-10	1	内面エポキシ樹脂粉体塗装
2	地中直管	FCD450-10	1	
1	本体	FC200	1	
符号	部 品 名 称	材 質	個 数	摘 要

弁体引抜型地上式消火栓 回転打倒式 乙管付
不凍式 双口100



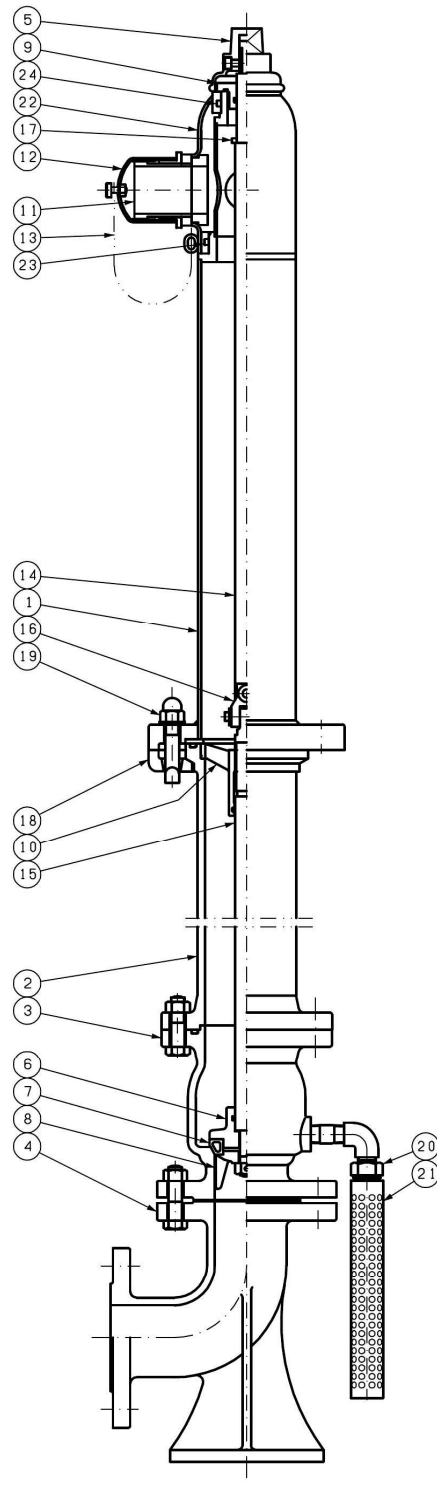
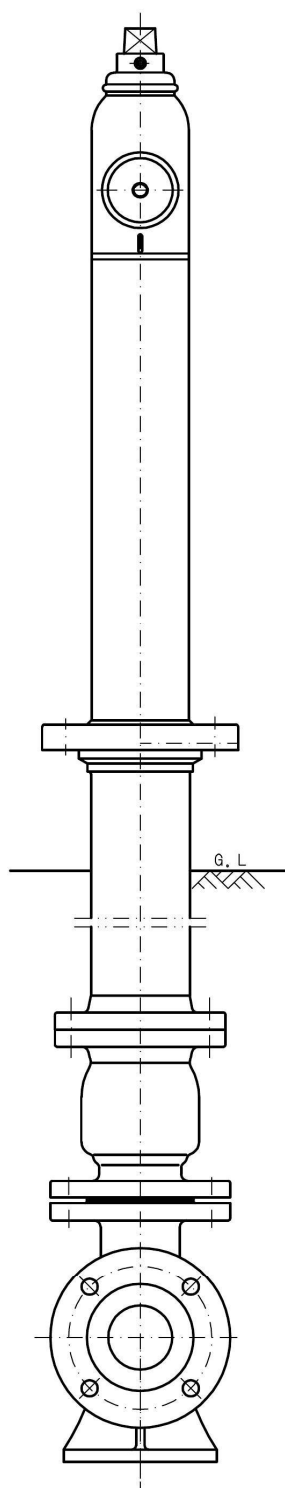
33	Vリング	NBR	1	
32	Vリング	NBR	1	
31	補助弁弁座	NBR	2	テフロンコーティング
30	補助弁弁体	CAC406	2	
29	補助弁弁箱	FC200	2	
28	自在回転輪	FC200	1	
27	排水パイプ	合成樹脂	1	
26	自動排水弁	C3604B	1組	
25	—	—	—	
24	—	—	—	
23	—	—	—	
22	—	—	—	
21	取付ボルト・六角袋ナット	FCD450-10	4組	ナット SUS304
20	安全座金	FC200	4	
19	自在操手	CAC406	1組	
18	下部弁軸	SUS403	1	
17	上部弁軸	SUS403	1	
16	スラスト座金	PTFE	2	
15	チェーン	SWRM	2連	エニクロメッキ
14	口金ふた	FC200	2	又は樹脂・ゴム
13	口金	CAC406	2組	
12	弁軸めねじ	CAC406	1	
11	—	—	—	
10	グラウンド	C3604B	1	
9	弁体ガイド	CAC406	1	
8	メインバルブ	NBR	1	
7	弁体	CAC406	1	
6	弁座	CAC406	1	
5	開閉キャップ	FC200	1	
4	乙管	FCD450-10	1	内面エポキシ樹脂粉末塗装
3	弁胴	FCD450-10	1	内面エポキシ樹脂粉末塗装
2	地中直管	FCD450-10	1	
1	本体	FC200	1	
符号	部 品 名 称	材 質	個 数	摘 要

ネオアーバンファイターⅠ型 ステンレス製 打倒式 乙管付
不凍式 単口75



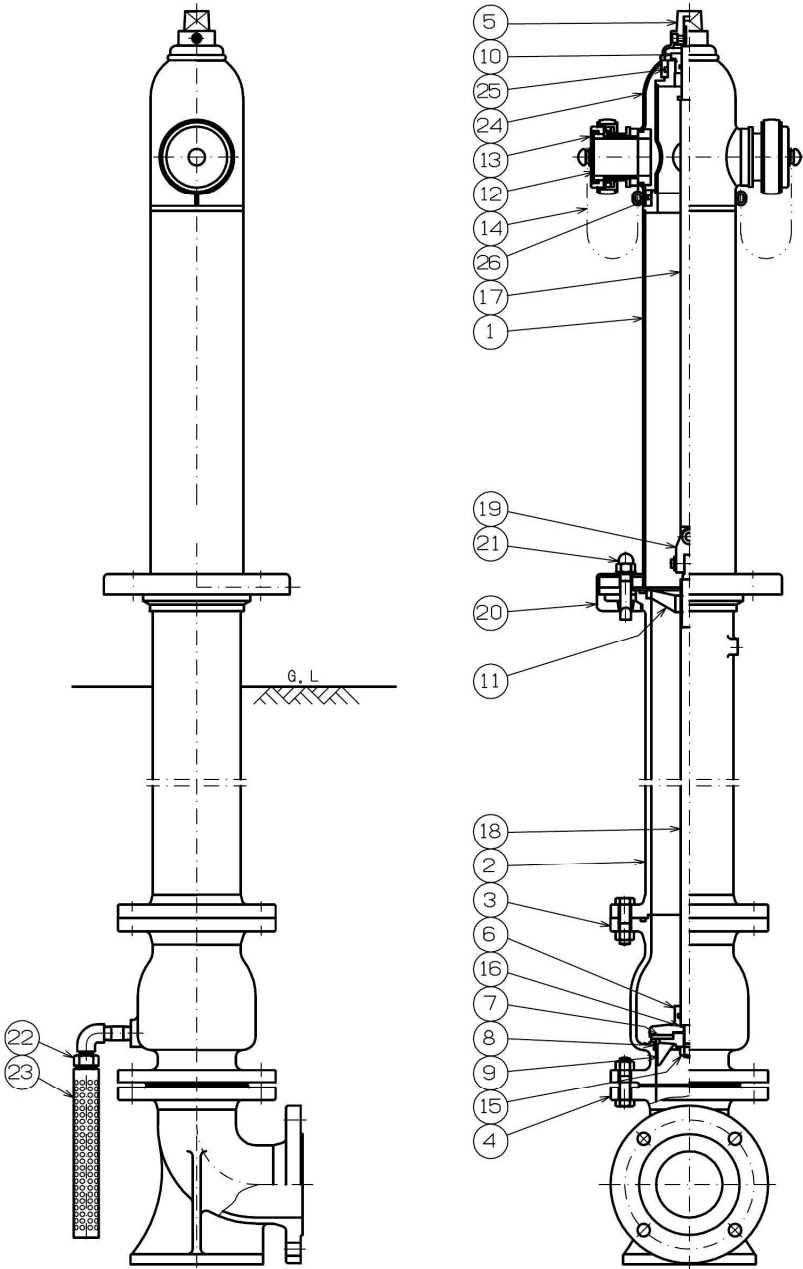
20	排水パイプ	合成樹脂	1	
19	自動排水弁	C3604B	1組	
18	取付ボルト・六角袋ナット	FCD450-10	4組	ナット SUS304
17	安全座金	FC200	4	
16	止めリング	SUS304	1	
15	自在接手	CAC406	1組	
14	下部弁軸	SUS403	1	
13	上部弁軸	SUS403	1	
12	チェーン	SUS304	1連	
11	口金ふた	SUS304	1	
10	口金	SUS304	1	
9	弁軸めねじ	CAC406	1	
8	弁体ガイド	CAC406	1	
7	メインバルブ	EPDM	1	芯金入り
6	弁体	CAC406	1	
5	開閉キャップ	SCS13	1	
4	乙管	FCD450-10	1	内面エポキシ樹脂粉体塗装
3	弁胴	FCD450-10	1	内面エポキシ樹脂粉体塗装
2	地中直管	FCD450-10	1	
1	本体	SUS304	1	
符号	部 品 名 称	材 質	個 数	摘 要

ネオアーバンファイターⅡ型 ステンレス製 回転打倒式 乙管付
不凍式 単口75



24	Vリング	NBR	1	
23	Vリング	NBR	1	
22	自在回転輪	SUS304	1	
21	排水パイプ	合成樹脂	1	
20	自動排水弁	C3604B	1個	
19	取付ボルト・六角袋ナット	FCD450-10	4個	ナット SUS304
18	安全座金	FC200	4	
17	止めリング	SUS304	1	
16	自在接手	CAC406	1個	
15	下部弁軸	SUS403	1	
14	上部弁軸	SUS403	1	
13	チェーン	SUS304	1連	
12	口金ふた	SUS304	1	
11	口金	SUS304	1	
10	弁軸めねじ	CAC406	1	
9	グラウンド	C3604B	1	硬質クロムめっき
8	弁体ガイド	CAC406	1	
7	メインバルブ	EPDM	1	芯金入り
6	弁体	CAC406	1	
5	開閉キャップ	SCS13	1	
4	乙管	FCD450-10	1	内面エポキシ樹脂粉体塗装
3	弁胴	FCD450-10	1	内面エポキシ樹脂粉体塗装
2	地中直管	FCD450-10	1	
1	本体	SUS304	1	
符号	部 品 名 称	材 質	個 数	備 考

ネオアーバンファイターⅡ型 ステンレス製 回転打倒式 乙管付
不凍式 双口100



26	Vリング	NBR	1	
25	Vリング	NBR	1	
24	自在回転輪	SUS304	1	
23	排水パイプ	合成樹脂	1	
22	自動排水弁	C3604B	1組	
21	取付ボルト・六角袋ナット	FCD450-10	4組	ナット SUS304
20	安全座金	FC200	4	
19	自在接手	CAC406	1組	
18	下部弁軸	SUS403	1	
17	上部弁軸	SUS403	1	
16	スラスト座金	PTFE	2	
15	六角ナット	SUS304	1	ナイロンナット
14	チェーン	SUS304	2連	
13	口金ふた	CAC406	2組	硬質クロムめっき 耐野式キャップ
12	口金	SUS304	2	
11	弁軸めねじ	CAC406	1	
10	グラッド	C3604B	1	硬質クロムめっき
9	弁体ガイド	CAC406	1	
8	弁座	CAC406	1	
7	メインバルブ	NBR	1	
6	弁体	CAC406	1	
5	周囲キャップ	SCS13	1	
4	乙管	FCD450-10	1	内面エポキシ樹脂粉体塗装
3	弁胴	FCD450-10	1	内面エポキシ樹脂粉体塗装
2	地中直管	FCD450-10	1	内面エポキシ樹脂粉体塗装
1	本体	SUS304	1	
符号	部 品 名 称	材 質	個 数	備 考

2. 受取り

2.1.確認事項

- (1) 製品がお手元に届きましたら、ご契約内容と相違ないかを確認してください。
- (2) 製品には出荷案内書（送り状）を付けています。
- (3) 製品には「安全上のご注意」を付けています。

2.2.受取り

- (1) 製品の荷姿は、呼び径、形式、寸法、質量（重量）、形状によって木枠などで梱包をしています。場合により、裸渡しとなることがあります。
- (2) 受取りは、適切な吊り用具を準備して、当布などで養生し、正しく安全な作業を行ってください。
- (3) 製品は、投げ出し、落下、引きずり、倒し等の衝撃を与えないように取扱ってください。
- (4) 製品質量は次のとおりです。（数値は参考質量）

口径 mm			H 寸法 1200mm の 場合の短管寸法	参考質量 (kg)
75 (単口)	打倒式	乙管付	H 1 = 850	120
		補修弁・乙管付	H 1 = 700	140
	回転打倒式	乙管付	H 1 = 850	130
		補修弁・乙管付	H 1 = 700	150
100 (双口)	打倒式	乙管付	H 1 = 800	150
		補修弁・乙管付	H 1 = 600	180
	回転打倒式	乙管付	H 1 = 800	160
		補修弁・乙管付	H 1 = 600	200
75 (単口)	Ⅰ型 打倒式	乙管付	H 1 = 850	90
		補修弁・乙管付	H 1 = 700	110
	Ⅱ型 回転打倒式	乙管付	H 1 = 850	100
		補修弁・乙管付	H 1 = 700	120
100 (双口)	Ⅱ型 回転打倒式	乙管付	H 1 = 800	120
		補修弁・乙管付	H 1 = 600	140

3. 運搬と保管

3.1.運搬

- (1) 製品の移動や据付けをする現場までの運搬は、受取られた梱包、荷姿状態で行うことをおすすめいたします。
- (2) 運搬中に製品が損傷しないよう、養生してください。
- (3) 取扱いは、「**2. 受取り**」と同様に行ってください。

3.2.保管

- (1) 据付けするまでの期間は、開梱しないで保管することをおすすめします。
- (2) 保管場所は、屋内の風通しのよい冷暗所としてください。雨や直射日光などの環境下では、製品劣化の原因となります。

環 境	劣 化 の 種 類
雨	外観劣化
直射日光	塗装の変色劣化、ゴムの物性劣化

- (3) やむを得ず、屋外で保管する場合は、シートなどで覆い、雨、直射日光、ほこりから保護してください。
- (4) 消火栓の弁体は、軽く閉状態としてください。

4. 開梱

4.1.開梱

- (1) 製品は塗装面を保護するために、ワイヤーロープで直接吊らずに当布等で養生して取扱ってください。
スリングベルトの使用をおすすめいたします。
- (2) 吊り作業を正しく、安全に行うために、玉掛けの資格取得者が取扱ってください。

4.2.開梱後の確認事項

- (1) 開梱しますと、製品全体がよく見えますので、外面、内面の外観に異常な箇所が無いかを確かめてください。
- (2) 無理に消火栓の開閉や、分解は行わないでください。
また、異物などの付着を避けるために、据付けまでは、「 **3. 運搬と保管** 」と同様に正しく行ってください。

5. 据付け

5.1. 確認事項

製品は、お客様とのご契約仕様にに基づき、製作しました検査合格品ですが、据付け前に次の事項を確かめてください。

(1) 製品仕様

- | | |
|---------------|-------------------------|
| a. 種類 | (単口75・双口100) |
| b. 開閉方向 | (左回り開き、右回り閉じ) |
| c. その他 | (補修弁・乙管付など) |
| d. 塗装仕様 | (フッ素樹脂塗装・SGめっき) |
| e. 付属品(オプション) | (配管ボルト・ナット、座金、ガスケット など) |
| f. 数 量 | |

(2) 異常の確認

- a. 消火栓の内面や外面に異物の付着や部品の損傷がない。
- b. 消火栓の組立ボルトに緩みがない。

5.2. 据付け前の確認事項

製品は、相手配管に正しく据付けして、その性能を発揮します。
そこで、据付け前に次の事項を確かめてください。

(1) 相手配管の確認

- a. 寸法について
 - ・接続フランジ寸法が一致している。
- b. 外観について
 - ・フランジ面は、傷、打痕などの異常がなく、滑らかで清浄である。
 - ・配管内部には、異物などがない。
- c. 配管精度
 - ・フランジ面は傾きがなく、水平である。
- d. 継手材（ボルト・ナット・座金・ガスケット）がそろっている。
 - ・粉体塗装の損傷防止にバルブ側には座金が必要です。

(2) 必要空間の確認

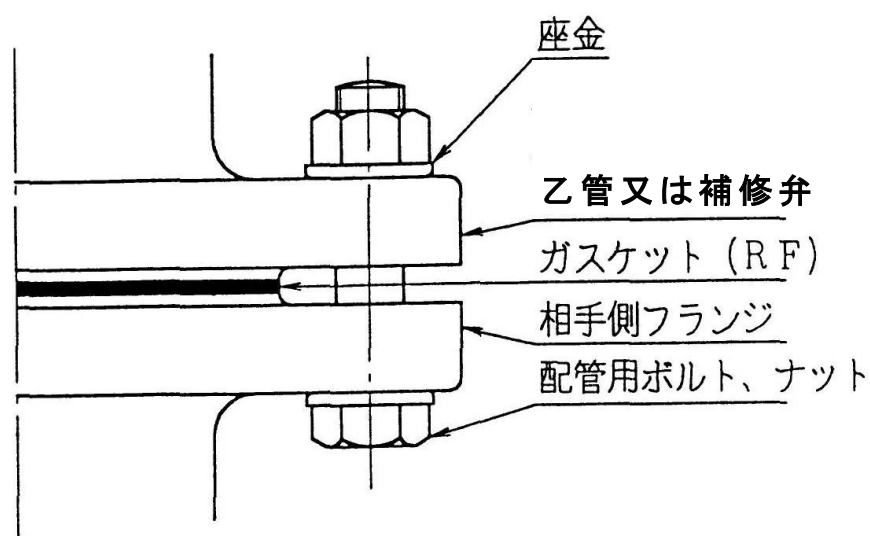
バルブの操作や保守点検に備え、必要なスペースを確保してください。

5.3.据付け

(1) 消火栓の据付け

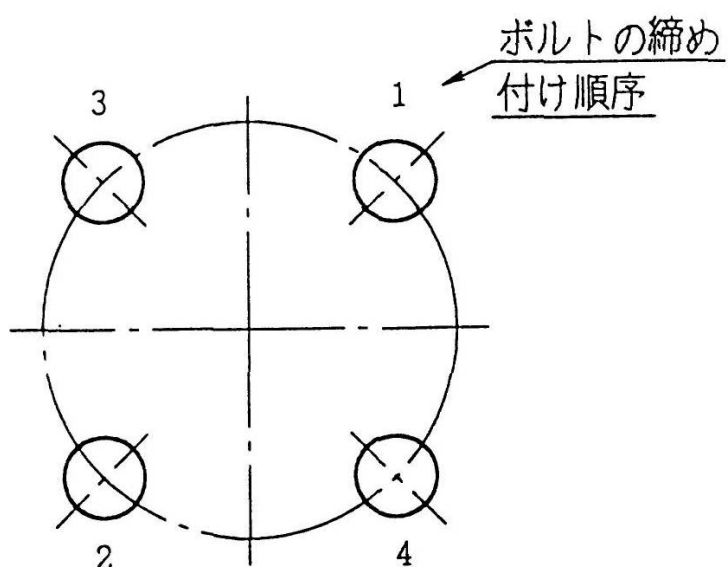
- a. 口金部の保護シートを外し、フランジ面を清掃してください。
- b. 相手フランジ面にガスケットを設置してください。
- c. 消火栓を吊り下げ、相手フランジ面の上に載せて、付属のボルト・ナットを用い、締め付けてください。
- d. 消火栓または相手フランジの外表面塗装がエポキシ樹脂粉体塗装の場合は、「平座金」を用いてください。

(注) 平座金の丸面コーナーをフランジ側にしますと、粉体塗装が傷つきません。



e. 配管用ボルト・ナットの締め付け順序と締め付けトルク

ガスケットを均等に圧縮するよう、片締めをせず、対称方向で順次行ってください。



なお、最終締め付けトルクの目安は、ボルトの呼びがM16の場合、トルク値は、60N・mとしてください。

- f. 据付けがすみましたら、清掃や補修塗装などを行ってください。

5.4.据付け後の確認事項

据付け姿勢が正しく、またボルト・ナットにゆるみのないことを確かめてください。

5.5.消火栓設置上の注意事項

(1) 凍結予防

地中自動排水弁廻りは、土質により土中浸水しにくい地質の場合があり、排水弁の目づまり事故の原因になる場合がありますのでドレン弁廻りは栗石（70～150mm大）を10個程度入れて目づまり防止及び長期の排水用空間を設けて、その上部に砕石を入れ消火栓内の残水をスムーズに排出する施工の方法を採用願います。

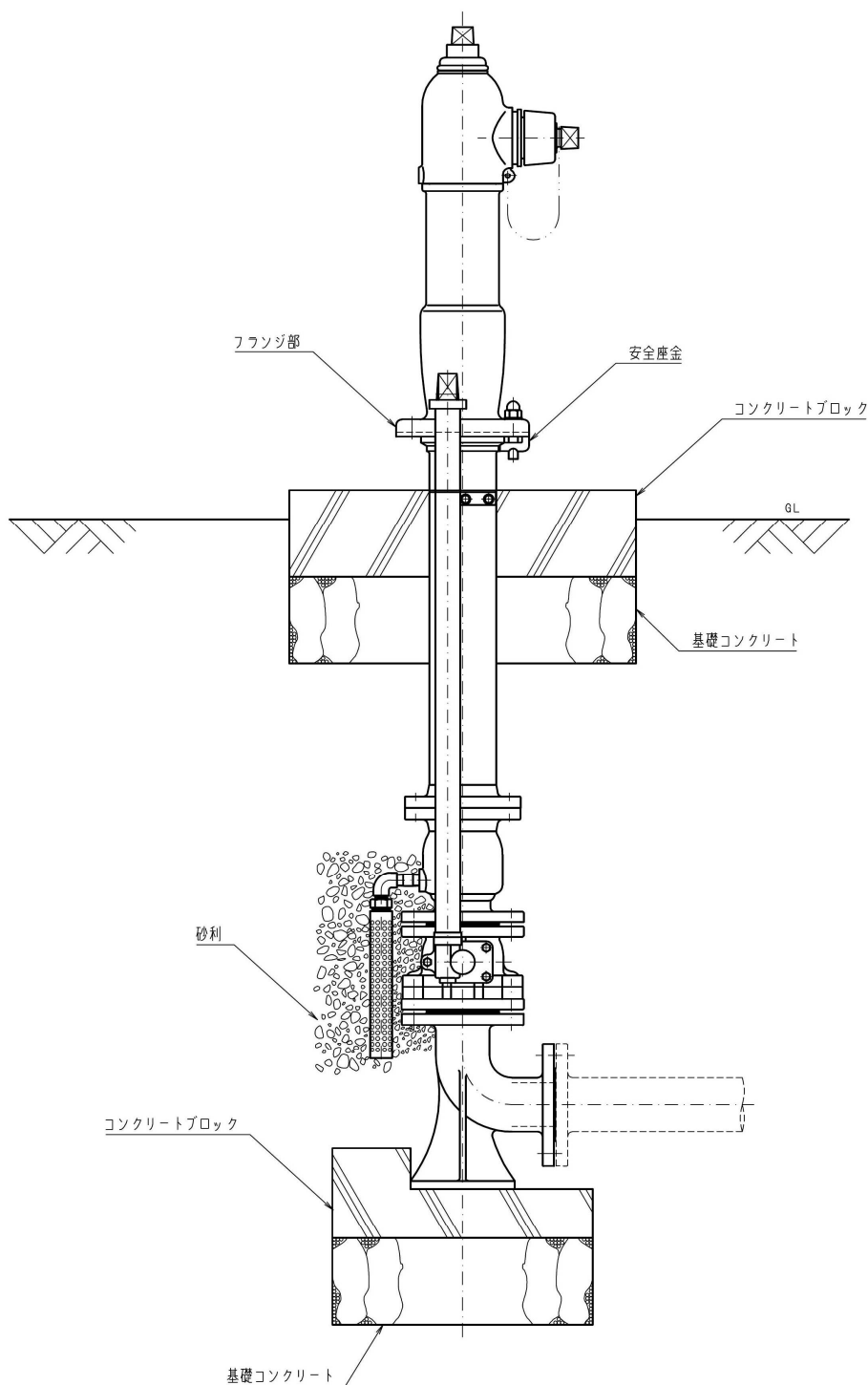
(2) 消火栓は通水時又は洗管時のドレン作業に使用しないでください。

消火栓主弁弁座部の損傷が発生し、又、地下自動排水弁の目づまりを起こす原因になりますので、正規の泥吐弁又は空気弁を使用し、通水テスト、洗管作業等を行ってください。

5.6.消火栓設置方法

消火栓の設置に不備な点などがありますと、故障や管の破損の原因になる恐れがありますので、設置の際には下記の事項に十分留意してください。

- (1) 消火栓の底部は、必ず平らな面の上に乗っすぐ据付けて傾かないようにしてください。
- (2) 排水がスムーズに行われるよう、自動排水弁周辺は砂利などの水はけのよいもので埋設してください。
- (3) 短管上部まで砂利を入れ固めた後、上部に基礎コンクリート、さらにその上にコンクリートブロックをはめ込んでください。（周囲が砂利が舗装されている場合は、モルタルで固定してください）
- (4) 地上式消火栓は打倒式ですので、フランジ部 安全座金の部分をコンクリートで固定しないでください。



6. 維持管理

6.1. 運転方法

消火栓を正しく、安全にお使いいただくために、次の正しい運転方法を守ってください。

(1) 適用範囲

消火栓の使用圧力は、0.75MPaです。使用に適した圧力範囲で使用してください。

(2) 操作

- a. 栓の操作は、栓専用の開閉ハンドルで行ってください。
- b. 補修弁付の場合は、常に全開の状態でお使いください。
- c. 開閉操作は、左回り開き、右回り閉じです。方向を間違い、大きな力をかけますと操作不能になります。
なお、主弁の全開から全閉までの回転数は、約5.5回転です。
- d. 万一、止水できないときは、異物の噛み込みが考えられます。無理にそのまま締め込まず、一旦、開いて異物を排出し、再度、締め込んでください。
- e. 操作時、口金に傷をつけないように注意してください。
変形したり、傷がつきますと、ホース金具と接続できなくなるおそれがあります。
- f. 口金からの異物混入を防止するため、使用しない時は、必ず口金ふたを設置してください。
- g. 栓は、通水時または、洗管時のドレン作業に使用しないでください。栓の弁座部の損傷が発生したり、自動排水弁の目詰まりを起こす原因となりますので、正規の泥吐弁を使用してください。

(3) 放水手順（単口75の場合）

- a. 口金ふたを外しますと（ねじ込み式です）、差し込み式（町野式）のホース結合金具が現れます。これにホース金具をカチッと音がするまで、差し込みます。
- b. 本体上部のキャップに開閉ハンドルをはめ込み、左に回すと、弁体が上昇し、放水できます。
- c. 放水完了後、栓を閉じ、口金部外し金をホース金具側に引きますと、取り外せます。
- d. 口金に口金ふたを設置します。
- e. 開閉ハンドルは所定の場所に保管してください。

(4) 放水手順

放水口 2ヶ所で放水の場合

- a. 口金ふたを 2ヶ所外しますと（ねじ込み式です）、差し込み式（町野式）のホース結合金具が現れます。
- b. 放水口の補助弁が開いている事を確認してください。補助弁は、緊急時を考え常時開にしておいてください。
- c. ホース結合金具にホース金具をカチッと音がするまで、差し込みます。
- d. 本体上部のキャップに開閉ハンドルをはめ込み、左に回すと、弁体が上昇し、放水できます。
回転打倒式の場合、口金部は、360° 旋回構造のため、放水方向を変えることができます。
- e. 放水完了後、主弁を閉じ、口金部外し金をホース金具側に引きますと、取り外せます。
- f. 口金に口金ふたを設置します。
- g. 開閉ハンドルは所定の場所に保管してください。

放水口 1ヶ所で放水の場合

- a. 口金ふたを 2ヶ所外しますと（ねじ込み式です）、差し込み式（町野式）のホース結合金具が現れます。
- b. 放水口の補助弁が開いている事を確認してください。補助弁は、緊急時を考え常時開にしておいてください。
- c. 放水する方のホース結合金具にホース金具をカチッと音がするまで、差し込みます。
- d. 本体上部のキャップに開閉ハンドルをはめ込み、左に回すと、弁体が上昇し、放水できます。
口金部は、360° 旋回構造のため、放水方向を変えることができます。
- e. 水が出始めたら、放水しない方の補助弁を閉じます。
（O ←→ S 約 90°）
- f. 放水完了後、主弁を閉じ、補助弁を開き、口金部外し金をホース金具側に引きますと、取り外せます。
- g. 口金に口金ふたを設置します。
- h. ハンドルは所定の場所に保管してください。

6.2.機能説明

(1) 自動排水弁（スプリング式）

栓内部の凍結を防ぐ機能が自動排水装置です。

本装置は放水時、約 0.1 MPa 以上の水圧で水が流れたとき、その圧力により弁が作動し、外部への漏水を止めます。また、排水完了後に栓を閉じた時、内部の圧力は低減してスプリングが作動し、排水口が開き、自動的に内部の残水を排出します。その為、冬期の凍結を防ぐことができます。口金部より水位が下がらない場合は、排水弁の石噛み等が考えられます。排水弁を交換してください。

(2) 打倒式

自動車等の事故により、栓が破損した時、栓全てを取り替えなくてはならない場合もあります。このような事故による破損を最小限に食い止め、復旧作業も速やかに行える装置が打倒式です。本装置は万一、事故が起こった場合、短管及び主弁部に影響はなく、主弁部漏れ発生事故もありません。
復旧作業も上部本体に損傷がなければ、安全座金の交換で復旧することができます。

(3) 弁体引抜型

弁体弁座の損傷により水漏れが発生した場合、栓全体を掘り返さずに取付ボルト・ナットを取り外し、上部本体を外すことによって弁体を上に引き上げ、弁体弁座を交換することができます。

(4) 補修弁

栓を点検・修理する時に、弁を全閉し上部に水が流れないようにするための弁で、常時全開状態にしてください。

全開から全閉までの回転数は約 2.5 回転です。

6.3.点検

消火栓は緊急に使用するものであり、使用時に支障があってはならないもので、常に清掃・整備を行ってください。

(1) 通常点検

およそ 1 年間周期で次の項目を確認してください。

点検内容	点検方法	判定基準	処置
外観検査	目視	損傷がないこと	損傷部品を交換
		よごれの発生のないこと	よごれを除去し、清掃する
		錆・剥離のないこと	再塗装する
作動点検	操作	キャップ開閉の円滑な作動	清掃もしくは部品の交換
漏れ	目視 聴覚 又は 圧力計	部品の合わせ面に水漏れのないこと 配管フランジ面に水漏れのないこと グラント部に水漏れのないこと	漏れがあれば、増し締め またはパッキンの交換
		主弁から水漏れのないこと	弁体弁座を交換
		本体、回転体、口金などの部品から水漏れのないこと	部品の交換
接続点検	接続金具	口金への接続金具の円滑な 取り付け・取り外しのできる状態	口金部品を交換
排水点検	目視	口金部よりの水位の確認	自動排水弁の交換

(2) 突発的な点検

不定期におこる地震、風水害などの天変地異及び大規模な火災のあとには、管路の総合点検が必要です。

その際には、管路診断などの総合チェックとともに、前途の保守点検を合わせて行ってください。

7. 標準仕様

品 名		地 上 式 消 火 栓 打 倒 式	地 上 式 消 火 栓 回 転 打 倒 式	ネ オ ア ー バ ン フ ァ イ タ ー Ⅰ 型 （ ス テ ン レ ス 製 打 倒 式 ）	ネ オ ア ー バ ン フ ァ イ タ ー Ⅱ 型 （ ス テ ン レ ス 製 回 転 打 倒 式 ）
呼 び 径		7 5 / 1 0 0	7 5 / 1 0 0	7 5	7 5 / 1 0 0
種 類		単 口 / 双 口	単 口 / 双 口	単 口	単 口 / 双 口
使 用 圧 力		0 . 7 5 MPa			
試 験 圧 力		弁 箱 耐 圧	1 . 7 5 MPa		
		弁 座 漏 れ	1 . 3 MPa		
適 用 流 体		上 水			
取 付 姿 勢		立 形			
塗 装	内 面	エ ポ キ シ 樹 脂 粉 体 塗 装 （ 弁 胴 ・ 乙 管 ）			
	外 面	フ ッ 素 樹 脂 塗 装 （ S G め っ き の 場 合 、 S G め っ き + フ ッ 素 樹 脂 塗 装 ）			—

ISO9001 ISO14001 ISO45001 認証取得(本社工場)



株式会社 **キッツエスジーエス**

本社工場 / 〒522-0027

滋賀県彦根市東沼波町928

TEL 0749-23-3131(代) FAX 0749-22-0687(代)

■ 東京支店 / 〒160-0023

東京都新宿区西新宿4-2-18 三共西新宿ビル

東京営業所

TEL 03-3370-6586 FAX 03-3375-6915

■ 名古屋支店 / 〒460-0002

名古屋市中区丸の内1-9-16 丸の内Oneビルディング

名古屋営業所

TEL 052-222-7282 FAX 052-222-7432

■ 大阪支店 / 〒550-0013

大阪市西区新町1-27-5 四ツ橋クリスタルビル

大阪営業所

TEL 06-6533-0471 FAX 06-6536-0555

○ 札幌営業所 / 〒060-0004

札幌市中央区北4条西13丁目1-22-803

TEL 011-242-8871 FAX 011-242-3221

○ 仙台営業所 / 〒984-0816

仙台市若林区河原町1-5-1 ハイッ河原町

TEL 022-217-1312 FAX 022-217-1320

○ 中国四国営業所 / 〒700-0913

岡山市北区大供2-1-1 ハスバリビル

TEL 086-227-2510 FAX 086-227-2515

○ 九州営業所 / 〒812-0008

福岡市博多区東光2-20-16

TEL 092-409-0996 FAX 092-409-0998